

学校法人 鴨江寺学園 鴨江幼稚園事業計画書

令和5年度の事業計画を報告いたします。

1 法人の概要

○ 建学の精神

本園は、釈尊の説かれた「法を灯明とし、自らを灯火とせよ」の、幡を掲げています。

本園は、先哲の流れを現代に生かし、体は野性的に！ 心豊かに！ 知能は文化人に！と、3拍子揃った教育を基本としています。

宇宙的広がりの中で、子どもたちが自己実現できる人間に成長し、感謝と努力を胸に、世界で創造・調和・貢献できる人間となるための土台作りに励んでいます。

我々は、より良い未来を創るために、PTAの三者が共に喜びあえる集団であることを念じています。

○ 設立の経過

昭和25年3月14日 宗教法人鴨江寺 鴨江幼稚園設置認可
昭和58年6月30日 学校法人化への設置者変更申請
昭和58年7月28日 学校法人鴨江寺学園認可
現在に至る

○ 設置する学校

鴨江幼稚園

○ 園則定員

3才児	140人	5クラス
4才児	140人	4クラス
5才児	140人	4クラス
<hr/>		
420人		

○ 園児予定数

3才児	80人	5クラス
4才児	90人	4クラス
5才児	90人	4クラス
<hr/>		
260人		

○ 役員・教職員の概要

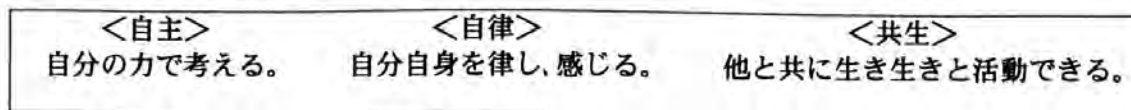
理事	6人
評議員	13人
監事	2人
教職員	32人

2 事業の概要

○ 当該年度の事業の概要

別紙 年間予定表

○ 当該年度の主な事業の目的・計画



人間の土台を育む年間カリキュラムを実践する。

○ 園と園児と家庭で共通の、園児の個人目標をたて、達成するために家庭と園が連絡を密にする。

○ 子どもの安全対策

- | | |
|--------------|---|
| ・ 園児の健康管理 | － R5年5月・6月 内科・歯科検診実施予定 |
| ・ 部外者への侵入対策 | － R6年1月 防犯訓練実施予定 |
| ・ 園内での事故防止対策 | － 週1回 遊具総点検予定 |
| ・ 交通事故防止対策 | － R5年6月・R6年1月 交通安全教室実施予定 |
| ・ 施設設備の点検 | － 電気・エレベーター隔月点検委託実施予定、
月初め施設設備自主点検実施予定 |
| ・ 地震対策 | － R5年5・9・10・12 R6年3月 地震避難訓練実施予定 |
| ・ 火災予防対策 | － R5年6・8・11 R6年2月 火災避難訓練実施予定 |
| ・ 防犯対策 | － R5年7月 R6年1月 防犯訓練予定 |

<教育要領実施項目>

I 健康

1. 行動と充実感
・ 体育ローテーション・オプネット英語
2. 運動
・ 体育ローテーション・マラソン・ヤマスポーツ・運動会
3. 健康・安全
・ 薄着の励行・防災避難訓練（保健安全計画別途記）、交通安全教室
・ 日常生活の中でのコロナ対策

II 人間関係

1. 自分の力で行動する充実感
・ S Iあそび・制作活動・園外保育・ゲーム遊び
2. 人とのかかわり
・ お店屋さんごっこ・遠足・盆踊り・誕生会・ヒッポ
3. 社会性
・ 朝礼・基礎活動・給食当番・一泊保育

III 環境

1. 自然とのふれあい
・ 園外保育・遠足・じゃが芋、さつま芋掘り・花壇・朝顔、ミニトマトの栽培
2. 身近な環境に自分からかわる
・ 園内遊び・花まつり・青葉祭・七夕・クリスマス・節分・涅槃会
・ じゃが芋、さつま芋蒸し・餅つき

3. 身近な事象の中で数、文字の感覚を豊かにする
・タイルあそび・モンテ・絵日記・かるた

IV 言葉

1. 自分の気持ちを言葉で表現する
・当番活動・生活発表会・劇遊び
2. 言葉で伝え合う喜びを味わう
・言語発表の時間・ごっこあそび・ヒッポ
3. 日常会話を習得し、まわりの人と心を通わせる
・絵本、紙芝居の読み聞かせ・ごっこ遊び

V 表現

1. 美しさに対する豊かな感性
・絵画・BGM・MS・読詩
2. 自分なりに表現する
・劇遊び・リトミック・絵画制作・MS・発表会
3. イメージを豊かにし表現を楽しむ
・ライゲン・エポック・リトミック・作文・発表会

今年度は、コロナの状況を見ながら、規制されていた教育内容も見直しながらできるところから取り組んでいきたいと考えております。

以上

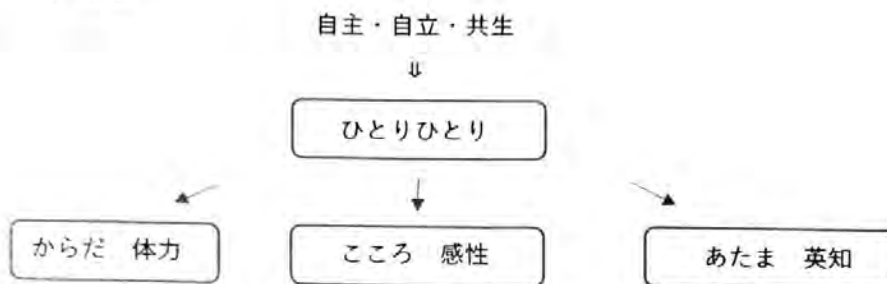
令和5年3月10日

学校法人鴨江寺学園

理事長・園長 建部 仁洋

教育理念	体は野性的に！！	心豊かに！！	知能は文化人に！！	教育目標	1. 健康・安全のための基礎体力のあることも。 2. 基本的な生活習慣を身に付け積極的に、自分で考え、行動できる子ども。 3. まわりの人々の愛を理解し、物事や社会への好奇心と大自然・目に見えない偉大なものへの畏敬の念を持てる子ども。 4. 豊かなことばの獲得・表現ができる子ども。 5. 自分のことは自分でためそうとする子ども。 6. ケンカもするけど、みんなと友達になれる子ども。 7. 「ありがとう」「ごめんなさい」が素直に表現出来る子ども。	
	より豊かな感覚、より確かな体力や運動能力、そして健康や安全に対する防衛体力や生活習慣を身に付けます。	豊かな心・豊かな表現力・感性豊かな人間性の基礎作りをします。また、情緒の安定につながるよう配慮します。	一人一人が主体的に、いきいきと生きる為に、脳をより高めより活性化させます。			
教育方針	適期教育	個を育てる	仲間づくり	各年齢別教育目標	満3歳児：好きな遊びを見つけ、友だちと関わりながら遊び、園生活に慣れる。 3歳児：いろいろな活動の中で保育者や友だちとの遊びや生活の楽しさを持てる。 4歳児：園生活を充分楽しみ、集団の生活の中でひとりひとりが自己を発揮できるようになる。 5歳児：自ら考え、自ら取り組む意欲を持つ。子ども同志で主体的に生活やあそびを繰り広げられるようになる。	
	幼児の種々の発達時期に、幅広い分野にわたる最も適切な環境と方法で、適期教育を行います。五感を通して、心豊かに育みます。	幼児一人一人の人格を尊重します。集中没我して物事に取り組む中から、自ら豊かな個性を輝かせます。	両親から得た人間信頼の上に幼稚園において、多くの友人と交わり、より良い人間関係を作る能力を培います。			
主な行事	<一学期> ○入園式 ○始業式 ○親子遠足 ○参観会 ○個人面談 ○交通教室 ○じゃが芋祭り	<二学期> ○父親参観会 ○始業式 ○父親参観会 ○年中・少・光 ○秋の遠足 ○運動会 ○クリスマス ○さつま芋祭り ○年中一泊保育	<三学期> ○始業式 ○授業式 ○交通教室 ○参観会 ○ひな祭り ○おひな祭り ○卒園式 ○修了式 ○卒業遠足	配慮すべき事項	健康支援 ○健康及び発育発達状態の定期的・継続的な把握(月1回の身体測定実施) ○年2回の嘱託医による健康診断(内科・歯科) ○視力検査 ○4歳児・年長新園児の心電図検査	
	環境・衛生・安全管理 ○施設内外の設備・用具の清掃及び消毒 ○施設内外の設備・用具の安全管理及び自主点検 ○毎月1回避難訓練実施(火災・地震・不審者対応) ○避難経路による交通教室	子育て支援 ○ひよこクラブ(週1回) ○チャイルドクラブ(週1回) ○園庭開放 ○育児相談 ○入園のしおり・パンフレット配布	特色のある教育 ○体育ローテーション ○シジュウジャー教育 ○OMS(音感教育) ○立腰 ○モンテッソーリ教育 ○れんぞく保育 ○石井式教育法 ○基礎活動 ○SIあそび ○外部講師による特別教育(体育・英語)			
教育課程	領域	内 容				ね ら い
	健康	満3歳児 ○運動、指先の機能の発達 ○排泄の確立 ○自ら食べる意欲	3歳児 ○意欲的な活動 ○基礎体力作り ○基本的生活習慣の確立	4歳児 ○健康への関心 ○体全体の協応運動	5歳児 ○健康増進とさらなる挑戦への意欲 ○安全で安定感のある行動	①明るく伸び伸び行動し、充実感を味わう。 ②自分の体を十分に動かし、進んで運動しようとする。 ③健康、安全な生活に必要な習慣や態度を身に付ける。
	人間関係	○自己主張の表出 ○友だちとのかかわりの増大 ○思い通りにならない事への葛藤体験	○自分でしようとする意思 ○道徳性の芽生えと平行遊びの充実	○仲間との深いつながり ○相手の思いへの気付き	○社会性の確立と自立心の育成 ○自分で考え自分で行動 ○友だちと思いの共感	①幼稚園生活を楽しみ、自分の力で行動することの充実感を味わう。 ②身近な人と親しみ、かかわりを深め、愛情や信頼感を持つ。 ③社会生活における望ましい習慣や態度を身に付ける。
	環境	○室内外の環境への積極的な関わり ○戸外遊びやお散歩での季節の気付き	○身近な環境への積極的な関わり ○身近なものを大切に作る心	○異年齢児への関心の高まり ○工夫して遊ぶ楽しさ ○文字や数の獲得による遊び	○社会、自然現象へのさらなる関心と生活への取り入れ ○ものの性質や仕組みへの興味と関心 ○数量・図形・文字への関心	①身近な環境に親しみ、自然と触れ合う中で様々な事象に興味や関心を持つ。 ②身近な環境に自分からかかわり、発見を楽しんだり、考えたりし、それを生活に取り入れようとする。 ③身近な事象を見たり、考えたり、扱ったりする中で、ものの性質や数量、文字などに対する感覚を豊かにする。
	言葉	○言葉のやりとりの楽しさ ○日常の挨拶への親しみ	○言葉の面白さ、楽しさへの気付き ○生活の中での必要な言葉への理解と使用 ○絵本への親しみ	○伝える力、聞く力の獲得 ○文字の獲得による遊び ○積極的な絵本への親しみ	○伝える力、聞く力の獲得 ○文字の獲得による遊びの発展 ○体験によるイメージや言葉のひろがり	①自分の気持ちを言葉で表現する楽しさを味わう。 ②人の言葉や話などをよく聞き、自分の経験したことや考えたことを話し、伝え合う喜びを味わう。 ③日常生活に必要な言葉が分かるようになってともに、絵本や物語などに親しみ、保育者や友だちと心を通わせる。
	表現	○象徴機能の発達とイメージの膨らみ ○音、色、形、手触り動きを感じる楽しさ	○自由な表現と豊かな感性の育ち ○感動体験を伝え合う楽しさ	○豊かな感性による表現 ○心を動かす出来事による想像力と感性の獲得	○ダイナミックな表現 ○感動の共有 ○体験を通じた表現	①いろいろなものの美しさなどに対する豊かな感性を持つ。 ②感じたことや考えたことを自分なりに表現して楽しむ。 ③生活の中でイメージを豊かにし、様々な表現を楽しむ。
研修計画	OMS園内研修(年3回) ○SI園内研修 ○園外研修への参加				自己評価 ○自己チェックリストの実施 ○保護者のアンケート	

1. 教育理念



2 (1) 教育目標

子どもが遊びや学習に参加しながら、自主・自律・共生を身につけた人間に成長することを援助する。

- ① 健康・安全のための基礎体力のある子ども
- ② 基本的な生活習慣を身につけ積極的に自分で考え、行動できる子ども
- ③ まわりの人々の愛を理解し、物事や社会への好奇心と大自然・目に見えない偉大なものへの畏敬の念を持てる子ども
- ④ 豊かな言葉の獲得・表現ができる子ども
- ⑤ 自分のことは自分で試そうとする子ども
- ⑥ ケンカもするけど、みんなと友だちになれる子ども
- ⑦ 「ありがとう」「ごめんなさい」が素直に表現できる子ども
- ⑧ 「やрмаいか！」と、何事にも一生懸命取り組む子ども

(2) 保育目標

- ①一人ひとりへの十分な愛情を示し、愛着関係をつくる、過ごしやすい環境を整える
- ②思春期を見通しての基本的信頼関係の基礎を築く

3. 利用定員

利用定員	年齢区分	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
	1号	-	-	-	3	3	3	9
	2号・3号	9	15	24	24	24	24	120
	合計	9	15	24	27	27	27	129
4/1入所数	年齢区分	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
	1号	-	-	-	3	3	3	9
	2号・3号	6	15	24	24	24	24	117
	合計	6	15	24	27	27	27	126

4. 職員数

4月1日現在	園長	副園長	主幹保育教諭	保育教諭	栄養士	調理	事務	合計
常勤	1	1	2	13	2	0	1	20
非常勤	-	-	-	7		2		9
合計	1	1	2	20	2	2	1	29

※上記の常勤保育教諭1名 R4.6～育休明け予定

5. 年間目標

0歳児

- 安全で落ち着いた雰囲気の中で保育者との信頼を築き情緒の安定を得る。
- 保育者に援助されながら食事・睡眠・排泄など基本的な生活習慣を身に付け徐々に「やっ」という気持ちを持つ。
- 発達に応じた環境の中でいろいろな体験を重ねて身体および感覚の機能が伸びていく。

1歳児

- 保育者と安定した関わりのなかで、自分の気持ちや欲求を表せるようになる。
- 自分でしようとする気持ちをもち、少しずつできるようになる。
- 探索活動を通して、十分に聞く、見る、触れるなどの経験をし、人や物への関心を広げる。
- 保育者に援助されながら、基本的な生活習慣の基礎が見につく。

2歳児

- 安全で保健的な環境の下、安心感を持って過ごす。
- 生活に必要な身の回りのことが自らできるようにする。
- 自己主張や欲求を受容・共感されることにより、自己肯定感を育む。
- 共感や共有する体験を通し、友だちとのかかわり方を知っていく。
- 日常の環境を通して、様々な素材の音・色・数・形・手触り・味・香りなどに触れていく。
- 見立て遊び・ごっこ遊びなどを通し、象徴機能や想像力を育む。
- 活動範囲が広がるとともに、歩く・走る・跳ぶなどの基本的な運動機能や指先の機能が充実していく。

3歳児

身近な仲間や様々な環境と積極的にのかかわり、意欲を持って活動する。

- 基本的な生活習慣を身に付け、自信を持って楽しく園生活を送る。
- 友だちとのかかわりを広げ、存分に遊びを楽しむ。
- 身近な環境に関心を持ち、積極的に関わる。
- 生活の中で必要とする言葉を知り、身近な人との言葉のやり取りを楽しむ。
- 自由な表現を楽しみ、豊かな感性を育む。

4歳児

- 積極的にいろいろな活動に取り組み、日常生活に必要な習慣や態度を身に付ける。
- 全身を動かして遊ぶ楽しさを味わい、様々な遊びに興味を持ち、保育者や友だちとのかかわりを広げる。
- 遊びの経験を広げ、いろいろな方法で表現する。
- 身近な環境や自然事象に興味・関心を持ち、発見を楽しんだり、考えたりして生活に取り入れる。
- 多種多様な経験を通して、生活に必要な言葉を身に付ける。

5歳児

集団の中で自立的・自主的に活動し、意欲的に体験を積み重ねる。

- 園生活を楽しみながら、主体的に活動し、基本的な生活習慣や態度を身に付ける。
- 友だちと様々な体験を重ねる中で自分の気持ちを調整し、友だちと折り合いをつけながらきまりを作ったり守ったりする。
- 身近な環境や自然事象に興味・関心を持ち、意欲的に取り組むとともに、感性を豊かにし、探究心や知的好奇心を高め、様々な表現力を身に付ける。
- 保育者や仲間とのかかわりの中で、相手の話をよく聞き、意見交換をする力をつける。
- 生活の中で充実感や満足感を持ち、自分のやりたいことに向かって心と体を十分に働かせ見通しを持って健康で安全な生活を送る。

6. 年間行事

- 4月 入園式 内科健診
- 5月 父母の会総会 親子ふれあい遊び 災害ダイヤルテスト 園外保育(3・4・5歳児)
- 6月 奉仕作業 視力検査(3歳児以上) 歯科検診
- 7月 七夕まつり 園外保育(3・4・5歳児) 夏まつり
- 8月
- 9月 災害ダイヤルテスト
- 10月 運動会 奉仕作業
- 11月 視力検査 内科検診 ハロウィン
- 12月 発表会 奉仕作業 クリスマス会 卒園遠足 餅つき
- 1月 お楽しみ会 個展
- 2月 豆まき
- 3月 ひなまつり 卒園式 園外保育

※ 毎月：防災訓練 身体測定 親子ひろば(週1回 園庭開放)

※ 園内外の研修参加

7. 利用定員ごとの提供する日及び時間

1号認定子ども(教育標準時間認定)

提供する曜日	月曜日から金曜日まで	
保育時間	教育標準時間	9:00~13:00
預かり保育	保育時間	7:00~9:00
		13:00~19:00
		土曜日 7:00~18:00

2号・3号認定子ども(教育標準時間認定)

提供する曜日	月曜日から金曜日まで	
保育時間	保育標準時間	7:00~18:00
	保育短時間	8:00~15:00
延長保育	保育標準時間	18:00~19:00
		7:00~8:00
	保育短時間	16:00~19:00
開所時間	月曜日から土曜日	7:00~19:00(土曜日18:00)

きなりこどもえん 2023年度 教育及び保育の内容に関する全体的な計画

事業の目的	全ての子どもに認定こども園法に基づいて、乳児及び幼児の教育及び保育事業を行うこと				
事業運営方針	教育・保育に関する専門性を有する職員が家庭との緊密な連携の下、園児の状況や発達過程を踏まえ、教育及び保育を一体的に行うように努めます。				
教育理念	身体は野性的に！心豊かに！知能は文化人に！と三拍子そろった教育を基本とし、子どもが自主・自律・共生を身につけた人間に成長するための教育				
●2・3号認定：基本保育時間→7:00(8:00)～18:00(16:00) ※延長保育時間→18:00～19:00 ●1号認定： 教育時間→ 9:00～13:00	年齢別の子どもの教育及び保育目標 (保育目標・保育の内容とともに年間指導計画の基礎事項・年間指導計画・行事は別紙) ●0歳児 生理的欲求を満たし生活リズムをつかむ ●1歳児 行動範囲が広がり探索活動を盛んにする ●2歳児(満3歳児) 象徴機能や想像力を広げながら、集団活動に参加する ●3歳児 身近な仲間や様々な環境と積極的にかかわり、意欲を持って活動する ●4歳児 仲間との信頼感を深め、共に遊び、学ぶ中で感情豊かな表現をする ●5歳児 集団生活の中で自発的・自主的に活動し、意欲的に体験を積み重ねる				
主な行事 (日常の節目としての行事設定)		●入園式 ●親子登園 ●慣らし保育 ●保育参観 ●七夕まつり ●夏まつり ●お月見会 ●運動会 ●発表会 ●クリスマス会 ●餅つき ●まめまき ●朝顔 ●ひなまつり ●卒園式		地域の真実に対応した保育事業と行事への参加 (社会貢献)	
教育・保育要領上の教育及び保育の基本及び目標	発達過程とクラスとの相関性	幼児期の終わりまで通ってほしい10の姿 保育5領域との整合性	家庭との連携	小学校への接続・連携	
教育・保育の基盤については前掲の4つの事項を重視する。目標は生活を通して、生きる力を育成するように設定することも園法第9条に規定する教育及び保育の目標の達成に努める。	0～5歳児クラス 計6クラスで保育をする。発達過程を踏まえて、目標達成を促す。教育・保育要領に基づいた年間指導計画を作成する。	年齢・保育要領の2つのねらい及び保育並びに配慮事項を踏まえ、各領域が示す目的に沿って教育及び保育がなされるようにする。「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」は、自発的な活動として遊びを通じて、一人ひとりの発達の特性に応じ、5歳児後半に見られるような具体的な姿としてとらえる。	園児の生活全体を豊かにするために家庭との連携を密に図る(連絡ノート・参観会・個人面談の実施)。家庭訪問等による状況把握。園の情報提供による情報の共有。れんらくアプリ・インスタグラム等による保育の取組。	5歳児、入学予定小学校の転居と連絡	
特別に配慮すべき事項	●発達障害(知的発達遅滞)の疑いのある児童(1月1日の身体測定実施) ●母2回分の学力検査(3歳児以上) ●発達障害及び保育中の行動特徴・様態、またその間に異常が認められた場合、保護者の授けへの適切な対応 ●母1回(職員面談)・(学級)・(個別)の特性(家族史・脳疾患・発達性出芽細胞異常・産後所内保育)	●園内外の設備、用具等の点検及び点検 ●施設内外の設備、用具等の安全管理及び自主点検(衛生無菌点検を含む) ●子ども及び職員の手洗消毒 ●感染症予防対策計画の作成と実施及び関係者との情報共有 ●インフルエンザ等感染症への対応 ●年1回(保護者による)火災及び避難訓練 ●毎月(職員)火災、地震、不審者対応の実施 ●施設内における対応と準備 ●消防署・消防団との連携による消防訓練の実施及び消防署参観 ●外部業者による園舎及び遊具点検(鉄骨部)、消防設備点検(消防防災)、エレベーター点検(三建電機)、耐震点検(ホシザキ)、ゴミ収集(ミダック)、警備(セコム)、衛生指導(オーケーユー) ●警備署の指導による安全教室の実施	●ダイニングルームでの食事(3歳児～) ●子どもたちから考える朝顔 ●栄養バランスを考えた自然給食の提供 ●離乳食(母乳食・完了食)の提供 ●アレルギー食の対応 ●行事食の提供 ●給食だより(掲示)、キッチンだより(食育)の発信 ●サンプル食の提供 ●菜園での野菜作り(2歳児～) ●クッキングの実施(2歳児～)	●入園のしおり・パンフレットの配布 ●保護者との連携協力 ●こども園紹介事業(ホームページ・インスタグラム) ●毎月1回の親子ひろば「むくく」 ●毎週の園誌(ホール)開放、育児相談	●モンテッソーリ教育推進 ●毎日の体力作り ●読書・読書教育 ●立席(2歳児～) ●つながり遊び ●毎日日記活動(5歳児) ●外部講師による特別教育(体操・英語・リトミック) ●個人絵本の購入 ●糸や布を使った表現活動
～5歳児の保育	●0歳児 生理的欲求の充実を図る ●1歳児 生活リズムの形成を促す ●2歳児(満3歳児) 適度な運動と休息の充足 ●3歳児 健康な生活習慣の形成 ●4歳児 食欲・意欲の促進 ●5歳児 健康・安全への意識の向上	●情緒的な絆の形成 ●温かなやりとりによる心の安定 ●自己の育ちへの受容と共感 ●主体性の育成 ●自己肯定感の確立と他者の受容 ●心身の調和と安定による自信への働き	人権尊重・虐待確認保護・個人情報保護・苦情処理解決第三者委員設置 ※幼保連携型認定こども園教育・保育要領 第1章 総則 第3-4(1)ア～エ、②ア～エ参照		
ねらい及び内容(満3歳児以上は、教育課程に係る1日4時間39分を下らない学校教育+その他の教育及び保育)					
教育及び保育の基本と目標	健康	人間関係	環境	言葉	表現
●身体機能の発達	●特定の大人との深いかわりによる愛着心の形成	●身近な環境への興味を持つ	●言葉の育みと応答による言葉の芽生え	●純粋な感情の表現	●健康増進とさらなる挑戦への意欲 ●安全で安定感のある行動 ●健康への関心 ●体全体の協調運動 ●社会性の確立と自立心の育成 ●自分で考え自分で行動 ●友だちとの共感 ●社会生活における望ましい習慣や態度を身に付ける。
●歩行の確立による行動範囲の拡大	●周囲の人への興味・関心の広がり	●好奇心を高める	●言葉のやりとりの楽しさ ●日常の挨拶への親しみ	●いろいろな素材を楽しむ	① 明るく伸び伸びと行動し、充実感を味わう。 ② 自分の体を十分に動かし、進んで運動しようとする。 ③ 健康、安全な生活に必要な習慣や態度を身に付け、見通しを持って行動する。 ④ 幼保連携型認定こども園の生活を楽しみ、自分の力で行動することの充実感を味わう。 ⑤ 身近な人と親しみ、かかわりを深め、工夫したりして一緒に活動する楽しさを味わい、愛情や信頼感を持つ。 ⑥ 社会生活における望ましい習慣や態度を身に付ける。 ⑦ 身近な環境に親しみ、自然と触れ合う中で様々な事象に興味や関心を持つ。 ⑧ 身近な環境に自分からかわり、発見を楽しんだり、考えたりし、それを生活に取り入れようとする。 ⑨ 身近な事象を見たり、考えたり、遊んだりする中で、ものの性質や数量、文字などに対する感覚を豊かにする。 ⑩ 自分の気持ちを言葉で表現する楽しさを味わう。 ⑪ 人の言葉や話などをよく聞き、自分の経験したことや考えたことを話し、伝え合う喜びを味わう。 ⑫ 日常生活に必要な言葉が分かるようになるとともに、絵本や物語などに親しみ、言葉に対する感覚を豊かにし、保育教諭等や友だちと心を通わせる。 ⑬ いろいろなものの美しさなどに対する豊かな感性を持つ。 ⑭ 感じたことや考えたことを自分なりに表現して楽しむ。 ⑮ 生活の中でイメージを豊かにし、様々な表現を楽しむ。
●言葉のやりとりの楽しさ ●日常の挨拶への親しみ	●伝え力・聞く力の獲得 ●文字や数字の獲得による遊び ●絵本(漢字)への親しみ	●伝え力・聞く力の獲得 ●文字や数字の獲得による遊び ●体験によるイメージや言葉の広がり	●自由な表現と豊かな感性の育ち ●体験や感動を伝える楽しさ	●豊かな感性による表現 ●心を動かす出来事による想像力と感性の獲得	●ダイナミックな表現 ●感動の共有 ●体験を通じた表現
●活動体験を十分に積み重ねる (2) 表裏による自己発現を考慮し、乳幼児期にふさわしい生活の展開 (3) 遊びを通じた指導を中心として5領域のねらいを達成 (4) 園児一人一人の発達の課題に即した指導・保育教諭の計画的な環境構成	目標：認定こども園法第9条の目標達成に努める				
研修計画	●教育・保育要領対応の園外・園内研修 ●モンテッソーリ教育の園内外研修 ●新人研修 ●園外研修への参加(乳幼児研修、発達障がい児研修、わらべうた等)				
自己評価	●法人による適切な施設運営管理の評価 ●こども園の評価(全体の反省による計画・教育課程への反映) ●保育教諭等の評価(自己評価と子どもの評価の確立) ●自己チェックリストの実施と危機管理マニュアルの作成、習得 ●第三者評価の理解 ●保護者のアンケート				